

図書教材新報

Books
teaching
materials
magazine

Vol.249

今月の特集

①教材活用シリーズ 自分の考えを表現する力をつける作文教材（P. 4～5）

②第38期学校教材調査会 総括（P. 6～10）

図書教材新報
Books teaching materials magazine

2026.1.25 Vol.249 (total 1876号)
1956年1月5日 創刊 毎月25日発行

教材研究の重要性

一般社団法人日本図書教材協会会長

辻村 哲夫



昨年9月、香川大学で開催された日本教材学会の大会に参加した。「深い『探求』の学びに導く教材の在り方」をテーマに3つの研究プロジェクトと9分科会・33の研究発表があった。「教材」には①テスト・ワーク等の資料のほか、②指導の内容の意味もあるが、発表の内容は両分野にわたり、いずれも示唆に富む興味深いものだった。

具体例をいくつか紹介すると、ある研究プロジェクトの発表は、教師・研究者・教材会社の協力による研究で、「図書教材」は一斉授業の画一性を打破し個別学習や知識の定着を図る点で強みをもつが、デジタル教材出現の時代を迎えて今後いかにかその特徴を發揮していくかの課題を提示するものだった。教材の歴史を辿りながらの時宜を得た発表だった。

②の意味での発表例を、参加した「音楽・美術・家庭・道徳」分科会での事例で紹介すると、
・伝統芸能「エイサー」を教材にして児童生徒

を単なる鑑賞者から地域の文化・歴史の継承者の自覚をもった存在にまで高めた実践
・スポーツ飲料の栄養成分表示を教材にして食生活改善の意識向上を図り、同時に算数の比例・割合の計算力を高めた実践
など、いずれも、学ぶことの意義や社会との関わりを理解させることで、児童生徒の学力・学習意欲を高めたよい実践・研究発表だった。

現在審議中ということもあって教育界の関心は次期学習指導要領の改訂に向きがちだが、学習指導要領に示された教育内容を着実に児童生徒に身につけさせるには教材が不可欠だ。
教材の良否は児童生徒一人ひとりの学力の定着・向上の成果に直接的に反映するだけに、実績評価と研究に基づいた工夫・改善が常に求められる。そのためには、教材に関する実践・研究の発表・情報交換が重要だが、その機会を提供する場として日本教材学会の活発な活動に大いに期待したいと思う。

全国各地で新年会を開催

一般社団法人全国図書教材協議会(細谷美明会長)の各都道府県協会では、会員販売店、出版社、全図協事務局を交えた新年会を開催した。

各都道府県協会では、会員販売店の代表者や従業員、出版社の社長や営業部長、営業担当者、全図協事務局などが参加し、新年会を開催している。

○大阪府中学協会

大阪府中学協会(藤井悟会長)では、1月6日に毎年恒例の新年会を大阪市「ホテルモントレ大阪」で開催した。

当日は、会員販売店より15名、出版社より22名、全図協事務局より2名の計39名が出席した。会中西亮史氏の司会のもと、はじめに溝田



上：大阪府中学、下：東京都中学

成副会長より年頭のあいさつがあった。続いて、秀学社・佐々木秀樹社長のあいさつがあり、その後、全図協・渡部竜士専務理事の乾杯の発声で開宴し、最後は葛城隆行副会長の中締めで閉宴した。

○東京都中学協会

東京都中学協会(依田誠会長)では、1月7日に恒例の新年会を千代田区「ホテルグランドアーク半蔵門」で開催した。

当日は、会員販売店より50名、出版社より29名、全図協事務局より2名の計81名が出席した。

会では、平野竜也副会長の司会のもと、依田会長より年頭のあいさつがあった。

続いて、全図協・渡部竜士専務理事と浜島書店・浜島拓央社長からの新年の祝賀のあいさつの後、新学社・山本伸夫社長の乾杯の音頭で開宴した。

その後、初参加者からの自己紹介などがあり、最後は図書文化社・則岡秀卓社長の中締めで閉宴した。

さいほうセット

バッグのデザインもいろいろ!

ふたが立つ
開いたまま使いやすい



フタを巻き込める



コンパクトなのに、
たっぷり
収納できる



習字セット

ビッグサイズ
なのに
超軽量
五三寸
すれる硯



面ファスナー仕様で
簡単に巻ける
らくらく筆まき



意匠登録済

先生の声から生まれた
筆もちくん

筆につけて持つだけで
簡単に正しい
筆の持ち方が学べます!



12月9日

日 小学校営業部長会を開催

小学校営業部長会（幹事長・森田祐樹日本標準営業部マネージャー）では、第2回部長会を「協会会議室」で開いた。

当日は、学校現場のICT化に関する情報交換、ブロック小学部会長からの要望事項への対応、次年度都道府県協会担当出版社案等について協議した。

12月10日

日 中学部会を開催

日図協の中学校加盟出版社の代表者で構成する中学部会（部会長・星沢卓也東京法令出版社長）では、第2回部会を「協会会議室」で開いた。

会議では、出版社代表者会議と小・中学部会の位置付けを確認したのち、中学部会のこれまでの主な議題をふまえて会議体のあり方について検討した。そのほか、五ツ木書房の退会の報告や、来秋の一泊の懇親企画の継続などを確認した。

12月11日

日 小学校編集部長会を開催

小学校編集部長会（幹事長・矢田恵理子日本標準取締役企画編集部マネージャー）では、第3回部長会を「協会会議室」で開いた。

会議では、教著協との協議、共同許諾申請、学教材調査会事業、教育行政の動向や教材の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応等について状況確認と検討を行った。

12月16日

日 中学校営業部長会を開催

中学校営業部長会（幹事長・杉山陽介正進社営業部長）では、第2回部長会を「協会会議室」で開いた。

当日は、学校現場のICT化やブロック中学部会長からの要望事項への対応、「子どもたちのみらいの学びを支えるプロジェクト」企画、出版社営業社員研修企画、都道府県協会及びブロック担当出版社案等について協議した。



中学校営業部長会

12月19日

日 中学校編集部長会を開催

中学校編集部長会では、第1回部長会を「協会会議室」で開いた。

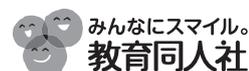
会議では、まずはじめに正副幹事長の選任を行い、幹事長に教育同人社・山口直人取締役、副幹事長に秀学社・大空等編集統括部統括部長を選任した。そのほか、教著協との協議、共同許諾申請、教育行政の動向や教材の在り方、教材の複製や公衆送信に関する問い合わせへの対応、広報活動、校務支援・採点支援システムへの対応等について状況確認と検討を行った。



全ての子どもに、もっと教育を

～公教育支援のパイオニアとして、社会の未来を創ります～

私たちがめざす理想は、全ての子どもにもっと質の高い教育を届けることです。教育は子どもたちを成長させ、社会の未来を創ります。教育によって日本の未来を幸せにしたい、世界の未来を幸せにしたい。私たちは今後も同じ志をもつ人々と集いながら、『全ての子どもに、もっと教育を』の理念を追求し続けます。



教材活用シリーズ 第186回

☆日図協加盟出版社の発行している教材について、実際の授業における活用例、より効果が得られるポイント(場面・方法)などをご紹介します。

自分の考えを表現する力をつける作文教材

(株)秀学社
『コミュレシピ』
『自由英作ナビ』



(株)秀学社 編集部

「作文ニガテ…」をなくしたい
「何を書いたらいいのか分からない。」「書きたいことを言葉にできない。」そんな苦手意識から作文を遠ざけてしまっている生徒や、作文指導に困っている先生方のために、作文教材を国語・英語のそれぞれで作成しました。
どちらも書き始めのハードルを下げ、書く力を段階的に育てる工夫を凝らしているため、作文が苦手な生徒にも「まずは書いてみよう」という意識をもたせることができます。

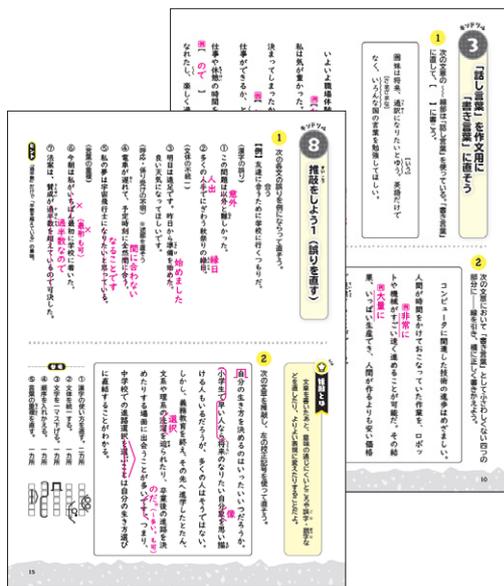


【国語】『コミュレシピ』

高校入試で課題作文を出題する都道府県は40程度ありますが、一方で、作文指導に十分な時間を割けず、思うような指導ができていないと感じる先生も少なくありません。そんな現場の状況をふまえ、『コミュレシピ』は、しっかりと基礎を固めたいうえで、授業時間内で二百字作文まで書く練習ができる構成になっています。

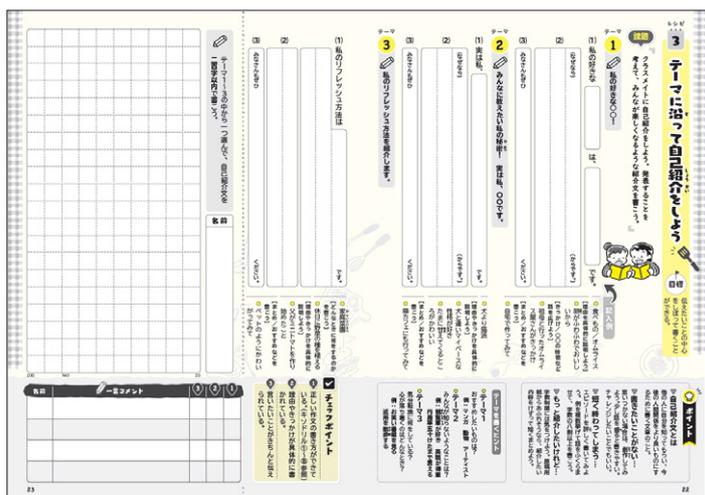
●基礎から学べる「キソドリル」

14回分の「キソドリル」では、文の整え方や推敲の仕方など、作文の「いろは」を定着させることができます。



巻末に生徒用解答解説があるので、自主学习にお使いいただけます。この「キソドリル」で作文の基礎を定着させた後、ワークシートタイプになっている「レシピ編」で実際に二百字作文を書きます。

●二百字作文がスラスラ書ける「レシピ編」
「レシピ編」は授業でお使いいただくことを想定しています。作文の準備は手順に沿って記入欄を埋めるだけ。スモールステップになっているので、作文が苦手な生徒でも最後まで取り組めます。



二百字作文を書いた後は、ページ下のチェックポイントを使って生徒同士で相互評価がきます。

ご採用いただいた先生からは、「題材が面白いので、子どもたちも喜んで主体的に取り組むことができました。」などのお声もいただいております。

【英語】入試の自由英作文対策『自由英作ナビ』

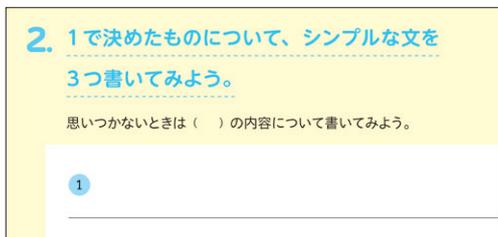
自由英作文はおよそ8割の高校入試で出題されていますが、決まった答えがない難易度の高い問題です。全国学力・学習状況調査では、約3割が無回答でした。『自由英作ナビ』は、そんな自由英作文に取り組む自信がつく教材です。

●スモールステップ

日本語と同じ感覚で英語を書くのは難しいことです。『自由英作ナビ』では、シンプルな内容の英作文から始め、そこに情報を付け足すことで文を長くします。このように段階を踏むことで、英作文に無理なく取り組めるようになっています。



▲ P. 4 シンプルな英文の作り方を確認する



▲ P. 6 まずはシンプルな英文を作ってみる

また、解答の完成に向けても段階を踏みます。紙面の指示に合わせて取り組めば、最初に主張、次に理由、最後にまとめを書く...と文章にする順に少しずつ英作することができます。

●入試の改題で経験を積む

問題は一見開きに一題。近年の入試でよく扱われるテーマを入試の改題の形で出題されています。まったく同じテーマで出題されなくても、似たテーマや、近い条件設定が出題されれば、一度英作した経験が役立ちます。自由英作に取り組んでみることでそのものが、入試対策のひとつになります。

●生徒を助けるコンテンツ

スモールステップの紙面でも、何を書けばいいかわからない生徒には、二次元コードから見られるサイトにある例文が助けになります。



▲ P. 8 二次元コード例

●先生方のご指導に役立つコンテンツ

先生方のご指導の際にご参考にしていただけるよう、教師用書には例解を朱書きで示しています。また、何回か取り組ませたい、本紙を提出用に使用したくない、生徒の解答をスキャンしたいといった場合に使える、印刷して配れる記入用紙のデータをご準備しています。

おわりに

デジタルが普及し、「紙に書く」機会が減っていますが、自分の手で自分の考えを書き記すことで、より確かな力が備わっていくと私たちは考えています。また、このような力は、入試だけでなく、社会に出てからも欠かせないスキルです。

私たちは『コミュニケーション』や『自由英作ナビ』を使って学習した子どもたちの「書く力」が確かなものとなり、生徒一人ひとりの財産となることを願っています。

ていた。文化庁の「常用漢字表の字体・字形に関する指針」（平成28年）では許容例が示されているものの、すべてを把握するのは困難である。テストの解答編のなかで具体的に示すことで、教師が実際に活用できる工夫を一層進めていただきたい。それが漢字指導に対する不信感や不満感の低減につながる。

3. まとめ

単なる読解テストや漢字の習得にとどまらず、国語力全体の向上を目指そうとする各社の姿勢がよく伝わってきた。ICTの活用も含め、改善への多様な努力には頭が下がる思いであ

る。ただし、二次元コードやICTの機能がまだ十分に周知されていない状況もある。教師や学習者への広報をより効果的に進めていただきたい。

日常的に使用されるテストやドリルは、学習指導要領や教科書の指導書にもまして授業や教師、さらには子どもたちの学びそのものに大きな影響を及ぼす。今後もさらなる改善と発展を各社に期待したい。

小学校社会の分析を終えて（総評）

社会科専門委員 月岡 正明 先生
（青山学院大学教育人間科学部 特任教授）



第38期学校教材調査会を通して、各社ともに、現行学習指導要領の趣旨をふまえた改善を行ってきたことが伺われた。以前と比べても、創意工夫された問題も増えてきたことを感じる。そうした成果の報告とともに、今後の更なる改善点を提案したい。

1. 評価教材の調査結果

プレテストで「思考・判断・表現」の内容を入れると、本テストでは「知識・技能」を問うことになる。プレテストは、「知識・技能」に絞るべきである。また、授業のなかでプレテストを実施するのは時間的に難しい現状がある。

「知識・技能」で資料の限界性を問う問題は、子どもに何を求めているのかわかるように問題の出し方を検討すべきである。また、文章の穴埋めでそこに入る適切な用語を問う問題でも、単元の概念的知識が身につけているか問う問題は適切な問題であると言える。

「思考・判断・表現」では、「～に着目し、○を捉え、□□を考える」という文脈で問題を作成した方が、子どもの力を適切に評価できる。

また、問題解決の流れを意識し、初めに問いがあり資料の読み取りをして問いを解決していき最終的に記述で「思考・判断・表現」を問う問題は、授業で身につけた「思考・判断・表現」の力を見る問題として適切である。社会的事象の見方・考え方を働かせて、事象と事象の関連、事象の特色や意味を考える問題は「思考・判断・表現」の問題として適切であるし、よいと思う。さらに問題解決の流れのなかで、子どもが問いを見出す問題も検討してみたい。今回、記述以外の問題でも「思考・判断・表現」として比較・分類・関連・総合した考え方を評価する問題があり、工夫されていると感じた。

主体的に学習に取り組む態度を評価する問題は、学習を振り返るとともに、学んだことを生活に生かしたり社会の発展を考えたりする視点も入れるようにするとともに、量的にもさらに充実を図りたい。

最後に、ワークテストでは、教科書の内容に準拠というより、学習指導要領に示された内容を評価することを大事にしたい。学習指導要領にはないが、教科書にはある内容を記述で問う

小学校国語科の総評

国語科専門委員 長田 友紀 先生
(筑波大学人間系 教授)



今回の調査は、平成 29 年告示学習指導要領に基づく教科書に対応した漢字ドリルおよびテストを対象として実施した。国語科は「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」を、それらの活動のなかで学ぶ教科である。ドリルやテストがこのような国語科の特質をどのように支援しているかを意識しながら調査を行った。

1. 漢字ドリルについて

漢字の三要素といえば「形・音（読み）・義（意味）」であるが、そればかりでなく熟語や文脈のわかるフレーズまで提示し、まるでミニ漢字辞典といったよいものとなっている。漢字の練習は当然ながら、クイズなどによって楽しく学べる工夫もみられた。限られた紙面にこれだけの情報を盛り込んでいる点には敬意を表したい。ただしスペースの制約のためか、教科書の字形とのズレや、多色刷りによる書き順表示などによって、一部の学習者が混乱する可能性が指摘された。

ICTの活用にも目を見張るものがあった。二次元コードの掲載が広がりつつあり、映像で書き順を確認できるものや、書き取りテストをオンラインで行えるものも見受けられた。また、非母語話者のために複数の言語でドリルの使い

方を説明するものもあった。ICTの活用は、情報過多というドリルの課題に対する方策となり得るとともに、学習者一人ひとりに応じた教材開発にもつなげられるだろう。

2. テストについて

正確に「読むこと」ができたかだけでなく、教材文に対する自分の思いや考えを自由に表現させる設問が増えつつあった。「話すこと・聞くこと」「書くこと」についても、積極的に評価しようとする工夫が各社にみられた。国語科は読解科ではない。こうした試みは、国語科の授業で行われた学習の成果を適切に捉えようとするものであり、高く評価できる。その際に重要となるのが、教科書の単元目標との整合性である。残念ながら、この目標とテスト内容とが十分に対応していない事例もみられた。難しい課題ではあるが、読解面のみならず、単元目標を明確に意識したテスト開発をぜひ進めていただきたい。

解答編においては、教師用で誤答に対する教師の声かけ例や、学習者用でヒントを示すなどの工夫もみられた。テストの結果をもとにさらに学びを深められる仕組みは評価できる。また、教師用に「漢字の許容」が示されたものが増え

(7)

1年間の総復習がこの一冊で完成！



がちり シリーズ
1年のふり返り 各5教科
2年のふり返り

定価(税込)各380円
A4判 カラー 32ページ
縮刷型詳解書・実力テスト・解答用紙
教師用CD-ROM

信頼をつちかい 学びで未来をひらく
株式会社 浜島書店

〒466-8691 名古屋市昭和区阿由知通2-1-1
TEL 052-733-8040(代) FAX 052-733-8977

<http://www.hamajima.co.jp/>

考え方を意識できる問題、4)は問題数と思考力を育む問題という観点からの指摘であり、児童の資質・能力をより高めたいと願う教員の切実な要望であると受け止められる。さらなる改善を期待したい。

2. テストの調査について

今回調査したテストには、思考・判断・表現を評価する良問や児童の算数的な興味・関心を喚起する良問が見られた。また、主体的に学習に取り組む態度を評価する問題にも工夫が見られた。一方で、各社別研究会では、課題が指摘され、以下のように、要望が出された。

5) 全国学力・学習状況調査では、図形の向きが変わった場合や見慣れない形への対応に課題があることが指摘されている。また、理由を自分の言葉で記述することについても児童の困難性が見られる。こうした課題の解消に向けた問題も作成してほしい。

6) 日常生活では起こりにくい問題、解決する必然性が感じられない問題が見られる。問題場面の設定を工夫してほしい。

5)は、適切に概念が形成されているかを評価する問題の開発、6)は問題の実現性、必然性の再点検という観点からの要望である。

3. 今後に向けて

評価は、児童が自らを振り返り、自分は何を理解できているのか、何を理解できていないのかを自己評価するために行われるとともに、これから一生懸命に学習していこうという気持ちを起こさせるために行われるものである。テストがそのような機能を持っているかどうかを改めて検討していくことが大切であると思う。



小学校理科調査会を終えて

理科専門委員 喜名 朝博 先生
(国士舘大学体育学部こどもスポーツ教育学科 教授)

りか

次期学習指導要領の方向性を決める中央教育審議会教育課程企画特別部会の議論と時を同じくして行われた教材調査会であった。そのようななか、観点別学習評価の「主体的に学習に取り組む態度」については評定には入れず、個人内評価とすることが明らかになった。

これまで各社が工夫を重ねてきた評価の観点であったが、評価をしないということではなく、個人の成長を見取っていく形に変わること留意しておきたい。その意味では、単元の最初の思考や他者との対話や協働する姿を記録する方法を開発することが必要となる。

1. 学習評価の本質に迫る評価教材

各社とも学習指導要領の趣旨や内容をふまえて作成されていることはもちろんだが、評価教材を通して子どもたちに確かな学力を定着させていこうとする姿勢が伺えるものであった。

学習評価の目的は、定着に至っていない部分を鮮明にし、フォローすることであり、評定のためだけのものではない。教師は採点しながら評価結果を分析し、全体への指導や個別の支援の内容と方法を考えている。そんな教師の営みをサポートする仕組みがフォロー教材として用意されていることは、教師にとって大変ありがたいことである。

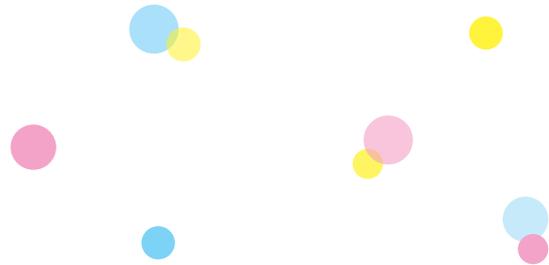
昨今、採点の煩雑さから記述式の問題を減らす傾向がある。一方、今年度の全国学力・学習状況調査の結果では、記述式問題の正答率の低さや無答率の高さが指摘されている。子どもたちの視点で考えれば、自分の考えをしっかりと書くという学習活動が重視されるべきであり、評価教材においても一定の割合で設問を設けるべきである。それを担保するのが、正答例や採点基準である。多くの評価教材での教師用資料として丁寧に作成されており、経験の少ない教師

ことは避けたい。

2. 資料集の調査結果

- 資料集が、教科書の補助資料的な役割とともに、「めあて」「資料」「まとめ」によって構成される問題解決的な展開にもなっているため、教科書と同じような資料が載っていたり、資料が小さくて読み取りが難しいものになったりする。例えば、教科書の補充という資料集のコンセプトを明確にすることで、一つひとつの資料が内容的に充実したものになるのではないか。
- 特集が内容過多の資料集もある。
- 6年生の資料集の内容は、歴史単元は充実しているが政治単元や国際単元の内容が十分で

- ないものもある。もう少しバランスをよくしたい。
- 資料集の役割として、資料のどこを見て読み取ったり考えたりするのかを示すように工夫したい。
 - ICT機器の導入によるデジタル教材と資料集の連携の在り方や資料集の役割は何かを検討すべき時期に来ていることを強く感じる。



学校教材調査会 [算数科] 総評

算数科専門委員 清野 辰彦 先生
(東京学芸大学自然科学系 数学講座 数学科教育学分野 教授)



現行の学習指導要領に基づいて作成されたドリルやテストに対する調査は、今回が2回目となる。今回の調査では、4回の分科会を実施するとともに、2日間にわたる各社別研究会を実施した。分科会では、「第38期小学校算数科調査基準」について検討を重ね、調査の観点を明確化した。各社別研究会では、調査結果について報告するとともに、ドリルやテストの問題の質、問題の順序、問題数、表記、デジタルの併用等、さまざまな観点から協議が行われた。

1. ドリルの調査について

今回調査したドリルは、知識・技能の習熟に重点をおいたドリルと思考・判断・表現を伸ばすことに重点をおいたドリルに大別できる。前者のドリルには、児童が誤答しやすい点が明示化され説明されていたり、計算の手続きを再度学習できるように、説明の動画（二次元コード）が付されていたりし、細やかな工夫が施されていた。また、後者のドリルには、単元において働かせる大切な数学的な見方・考え方が明示化されていたり、誤答を意図的に取り上げ、どこ

に間違いがあるのかを説明する問題や考える面白さを感じる問題が扱われており、工夫が施されていた。

上記のように優れた点がある一方で、各社別研究会では、課題が指摘され、以下のように、要望が出された。

- 1) 授業進度に合わせてドリルを用いたが、授業時数とドリルの該当ページが対応していない単元がある。児童がつまずきやすい内容であるため、該当ページを増やしてほしい。
- 2) 数学的表現の視点からドリルを見た際、問題場面から立式する問題や図と式を関連付ける問題が不足しているので、増やしてほしい。
- 3) 教科書の意図を解釈すると、教科書の該当ページでは、数学的な見方・考え方が大切である。数学的な見方・考え方を意識できる問題を増やしてほしい。
- 4) 計算ドリルに関して、適切な問題数について考慮するとともに、思考力を養うことができる問題も入れてほしい。

1) は授業とドリルとの対応、2) は数学的表現からみた問題の種類、3) は数学的な見方・
(↑)

でも採点や誤答分析がしやすくなっている。

2. これからの評価教材

次期学習指導要領では、デジタル学習基盤が前提となる。それは、単に一人一台端末を活用することではなく、教科書やノート、教材に加え、デジタル教科書やデジタル教材、評価教材や授業支援ソフトなど、さまざまなコンテンツを組み合わせることで授業を創っていくことである。

これからの評価教材は、デジタル学習基盤の授業創りのコンテンツのひとつとして位置付くことになる。既に取り組まれている会社もあるが、評価教材のデジタル化やCBT化についても避けて通れない課題となるだろう。

3. 教科書準拠の強み

自治体単位でのデジタル評価教材の導入が進んでいる。その目的は教師の負担軽減と評定資料に資することにある。一方、各社が作成する評価教材の最大の強みは、教科書準拠として子どもたちの日々の学びと直結していることである。前述のように、さまざまなコンテンツを組み合わせることで授業を創っていくことを考えると、

教科書準拠の強みをもっと生かし、アピールしていきたい。さらに、評価教材の位置付けについても、単元の終わりだけに焦点を当てるのではなく、単元や授業の流れのなかに組み込んでいくことも考えられる。

学習指導要領改訂とそれに伴う新しい教科書は、評価教材にとっても大きな転換点となる。それは、本調査会の存在意義がますます大きくなることでもある。

おわりに

今期の調査会も、委員各位の的確かつ明解な分析と説明によって各社の要望に応えられるものになった。また、各社別研究会では、教材に対する各社の強い思いや創意工夫を共有することができ、我々も学ぶことが多かった。

委員各位並びに各社のご担当者の皆様に改めて感謝申し上げます。

* * * * *

《英語科の総括は来月号に掲載予定です。》

と、迷信について聞いたことが

一方、最近のある調査によると、迷信について聞いたことが

編集後記

新年明けましておめでとうございます。今年は午年。さらに各方面でも言われておりますが、60年に一度の丙午にあたります。

よく「丙午生まれの女性は気が強くなる」「夫の寿命が短くなる」などの迷信を見聞きしますが、60年前はそのような迷信が広まったこともあり、出生数が前年比で約25%も激減しました。

ある人は多いものの、ただの迷信なので気にしていなかったり、特にイメージがなかったりする人も多いようです。それもあってか出産についても自分たちの計画を優先する傾向が強くなり、迷信が気になるので避けたい人は少数派のようで、60年前とは少し迷信への捉え方が変わってきているのかもしれない。

この業界だけではなく、日本全体の課題である少子化の観点からも例年以上に注目される一年になりそうです。

(S)

= 都道府県協会 会員だより =

☆代表者・商号・住所変更のあった会員☆

< 代表者変更 >

愛知県 … (株)東郷堂 (愛知郡)

新代表…近藤健人

長崎県 … (有)甲斐教材社 (佐世保市)

新代表…堀場延恭

< 住所変更 >

長崎県 … (有)学友社 (長崎市内)

教材士研修制度 基礎コース講座

今年度も会員販売店と加盟出版社を対象に実施しています。講座の追加などリニューアルを行っています。

講座内容の詳細、受講のお申込みは協会ホームページよりお願いします。

今年度の受講期間は 2026 年 3 月末までです!